

## Q&amp;A

## 術前診断困難であった後腹膜腫瘍

## 【問題】

症例：50歳代，女性。

主訴：後腹膜腫瘍。

既往歴：糖尿病，心室性期外収縮，帝王切開。

生活歴：喫煙歴なし，飲酒歴なし。

現病歴：時折，頭重感やほてりとともに血圧高値となるため，頓用でビソプロロールフマル酸塩を内服していた。健康診断の腹部超音波検査で臍頭部から十二指腸の背側に長径60mmの腫瘍を指

摘され，精査目的に当院を受診した。

現症：身長164cm，体重52kg，血圧192/105mmHg，脈拍79bpm，体温36.8℃。下腹部正中に帝王切開後の手術痕を認める以外に明らかな異常は認めない。

血液検査所見：WBC 4480/ $\mu$ l，Hb 14.1g/dl，Plt 20.2万/ $\mu$ l，T-bil 0.6mg/dl，AST 27U/l，ALT 21U/l，LDH 215U/l，ALP 215U/l， $\gamma$ -GTP 32U/l，amylase 85U/l，TP 7.8g/dl，Alb 5.0g/dl，空腹時

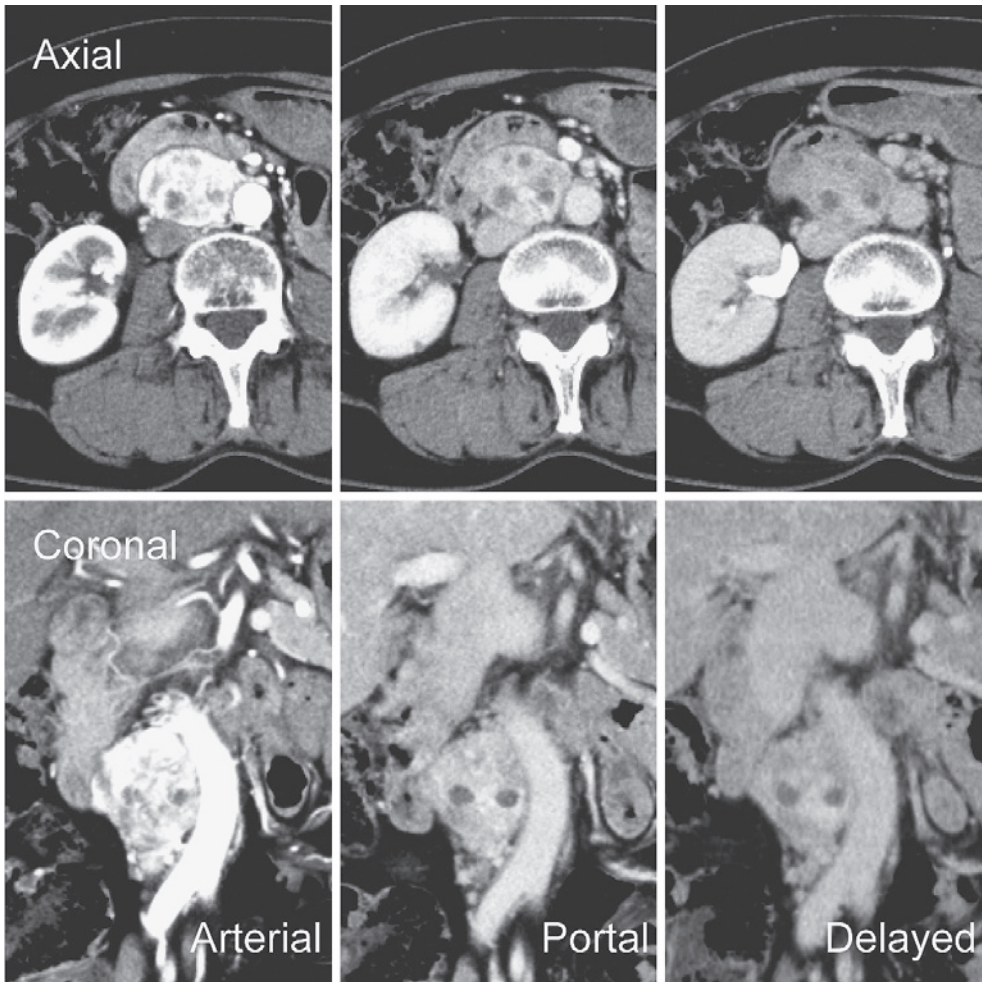


Figure 1. 腹部造影CT検査，上段：軸位断，下段：冠状断，左：動脈相，中：門脈相，右：遅延相。

血糖 95mg/dl, HbA1c 6.8%, CRP 0.048mg/dl.

腹部造影CT (Figure 1), FDG-PET/CT (Figure 2a),  $^{111}\text{In}$ -pentetreotide によるソマトスタチン受容体シンチグラフィ (SRS) (Figure 2b) の所見を示す.

1. 考えられる疾患は？
2. 追加で行うべき検査は何か？

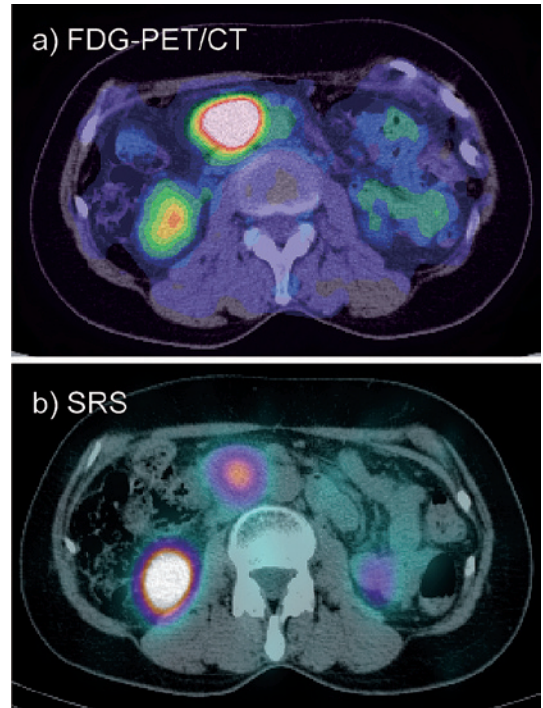


Figure 2. a : FDG-PET/CT, b :  $^{111}\text{In}$ -pentetreotide によるソマトスタチン受容体シンチグラフィ.